

令和 4 年 4 月 6 日
東京都立目黒高等学校
校長 川原 博義

令和 5 年度教育実習生の受け入れについて

- 1 教育実習受付期間は令和 4 年 4 月 7 日（水）～令和 4 年 5 月 13 日（金）（消印有効）とする。希望者は所定の願書（下記に記載）に必要事項を記入の上、添付書類とともに、「東京都立目黒高等学校教務部教育実習担当」宛てに、配達記録が残る方法で郵送すること。締め切り後、選考を行い、内定者を学校長が決定し、概ね令和 4 年 7 月上旬までに普通郵便にて結果を発送通知する。なお、送付書類については本件以外の用途で用いることはせず、返送先を記した赤色のレターパックを同封した場合は、送付書類の返却を行う。
- 2 教育実習の実施時期は原則的に令和 5 年 5～6 月とする。ただし本校の事情により同年 9～10 月となる場合もある。実施時期の詳細、および各実習生の実習時期をいずれとするかは、本校学校長が本校の実情に応じて定める。時期の決定および詳細については令和 5 年 4 月 1 日以降の早い時期に郵送で該当者に連絡する。
- 3 募集枠は特に定めないが、本校の教育活動に即して受け入れを本校学校長が決定する。
- 4 教育実習に関して東京都教育委員会と提携している大学の新 3 年生（令和 4 年 4 月現在）を優先する。提携の有無は大学の担当部局に事前に必ず問い合わせしておくこと。
- 5 東京都教員採用試験受検予定者を優先する。
- 6 所属する大学の卒業に必要な単位ならびに教職資格に必要な単位が問題なく修得できていること、および教員としての資質に富み、本校の教育実習に関する指導に従って行動できることを受け入れ条件とする。
- 7 本校の当該教科がその専門性に支障がないと認められること。
例）日本史授業の実習を希望する者は、大学で日本史を主専攻とすることが望ましい。

以上

追記

願書を送付する際、必須ではありませんが、可能であれば大学 1、2 年次の単位修得証明書（複写可）を添付してください。

不採用となり、返送希望でない場合、送付された書類は速やかに返却または廃棄いたします。

令和4年 月 日

令和5年度教育実習申し込み（願書）

*以下の内容をすべて自署すること。

東京都立目黒高等学校にて令和4年度教育実習を希望します。

私は所属校担当部局に、所属校が教育実習に関し東京都教育委員会と提携していることを確認しました。

氏名(ふりがな) _____ 印 _____

所属 _____大学 _____学部 _____学科 _____学年
卒業に必要な単位数 _____ 左のうち2年次までに修得した単位数 _____
教科を含む教職に必要な単位数 _____ 左のうち2年次までに修得した単位数 _____

出身高等学校名 _____

(本校出身者の場合、卒業年月 _____年 _____月、担任氏名 _____)

実習希望教科 _____科 実習希望科目(_____)

連絡先

郵便番号 _____
住所 _____
電話番号 _____(携帯電話番号) _____
メールアドレス(PCで利用できるもの) *はつきりと記入してください

上記連絡先で連絡がつかない場合の連絡先

郵便番号 _____
住所 _____
電話番号 _____(携帯電話番号) _____
連絡先の氏名 _____ 出願者との関係(_____)

単位修得証明書(含む複写)を願書に添付(します・しません)。←いずれかを○

書類返送希望および返送用赤色レターパック同封(あり・なし)。←いずれかを○

以上の通り間違いございません。

上記内容に内定した場合は、所属校を所定年限で必ず卒業して教職試験の受験を目指して努力すること、
東京都立目黒高等学校の教育実習に関する指導に従うことを約束します。

以上